



J2UZ-9680-01Z0(A)

NetCOBOL V7.3

リリース情報



Net  **OBOL**

 **FUJITSU**



まえがき

本書は、NetCOBOLのリリース情報について説明します。

関連マニュアル

この製品および関連製品のマニュアルには、本書のほかに以下のマニュアルがあります。

- “COBOL文法書”
- “NetCOBOL 使用手引書”
- “COBOL ファイルアクセスルーチン使用手引書”
- “例題プログラム”
- “メッセージ説明書”
- “Web連携ガイド”
- “COBOL Webサブルーチン使用手引書”
- “MeFt説明書”
- “MeFt/Web説明書”
- “SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL) Linux CL オンラインマニュアル”
- “SIMPLIA/TF-MDPORT 使用手引書”
- “PowerSORT 使用手引書”
- Windows®版の “FORM説明書”
- Windows®版の “FORMのヘルプ”
- Windows®版の “PowerFORMのヘルプ”

登録商標について

本書に記載している登録商標を、以下に示します。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

X Window Systemは、オープン・グループの商標です。

Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Intel、Itaniumは、Intel Corporationの登録商標です。

2007年 7月

All Rights Reserved, Copyright (C) 富士通株式会社 2005-2007

目次

| | |
|--------------------|----|
| 第1章 追加機能の概要..... | 1 |
| 第2章 互換に関する情報..... | 5 |
| 第3章 プログラム修正一覧..... | 11 |
| 索引..... | 13 |

第1章 追加機能の概要

ここでは、以前のバージョン・レベルより追加された機能の概要と内容について説明します。

| 項番 | VL | 機能名 | 内 容 | 参照マニュアル |
|----|-------------|--------------------------------------|---|--|
| 1 | V7.2 L10 | 国際規格 COBOL2002 の新 データ型サポー ト | USAGE 句に、国際規格COBOL2002 の 2 進データ項目の新データ型 (BINARY-CHAR、BINARY-SHORT、 BINARY-LONG、BINARY-DOUBLE)を記 述することができるようになりました。 他言語との連携において、円滑に2 進データの受け渡しができるよう になりました。 | ◆COBOL文法書 “5. 4. 15 USAGE句” ◆COBOL 使用手引書 “9. 3. 3 データ型の対 応” |
| 2 | V7.2 L10 | 2進項目の解釈 の指定 | ASCOMP5オプションを指定すること により、USAGE BINARYおよびUSAGE COMP、USAGE COMPUTATIONALが指定 された項目をUSAGE COMP-5が指定さ れたものとして扱うことができる ようになりました。 | ◆COBOL 使用手引書 “A. 2. 2 ASCOMP5 (2進項 目の解釈の指定)” |
| 3 | V7.2 L10 | Micro Focus 固 有機能 | 「VALUE句無しデータ項目の初期化 機能」、「16進数字定数」をサポート することにより、Micro Focus 社 COBOLからNetCOBOLへ、より移行し やすくなりました。 | ◆COBOL文法書 “10. 2 16 進数字定数” ◆COBOL 使用手引書 “A. 2. 16 INITVALUE (作 業場所節でのVALUE句な し項目の扱い)” |
| 4 | V7.2 L10 | チェック機能強 化 | ・CHECK (PRM) オプションを指定する ことにより、外部プログラムを呼び 出すCALL文のパラメタ不整合を実 行時にチェックします。 ・CHECK (NUMERIC) オプションのデー タ例外検査が、英数字項目または集 団項目から、外部10進項目または内 部10進項目へ転記される場合にも 行われるようになりました。 ・CHECKオプションのサブオペラン ドを同時に複数指定できるよう になりました。 | ◆NetCOBOL 使用手引書 “5. 3 CHECK機能の使い 方” “A. 2. 4 CHECK (CHECK機 能の使用の可否)” |

| 項番 | VL | 機能名 | 内 容 | 参照マニュアル |
|----|-------------|---------------------------------|--|--|
| 5 | V7.2 L10 | 帳票印刷の表現力向上 | 帳票定義体で定義された項目の背景色や網がけ属性をプログラムから動的に指定できるようになりました。 | ◆COBOL文法書 “2.6.6 特殊レジスタ” ◆NetCOBOL 使用手引書 “7.1.10 特殊レジスタ” |
| 6 | V7.2 L10 | 出力データストリーム種別の追加 | UVPI (VSPプリンタ向けデータストリーム) およびPostScriptレベル2の出力ができるようになりました。 | ◆NetCOBOL 使用手引書 “第7章 印刷処理” |
| 7 | V7.2 L10 | PowerSORT が使用するメモリ空間のサイズを指定する機能 | SORT文およびMERGE文から呼出されるPowerSORTが使用するメモリ空間の容量を、COBOLアプリケーションから指定できるようになりました。 | ◆COBOL文法書 “2.4.6 特殊レジスタ” ◆NetCOBOL 使用手引書 “4.2.2.4 [smsize値k] (PowerSORTが使用するメモリ容量を指定)” “第11章 SORT文およびMERGE文の使い方～整列併合機能～” “A.2.34 SMSIZE (PowerSORTが使用するメモリ容量を指定)” |
| 8 | V7.2 L10 | MeFt/Web連携 | 表示ファイル機能の画面入出力を使用したアプリケーションを、Web環境で利用できるようになりました。 | ◆NetCOBOL 使用手引書 “7.5 表示ファイル(帳票印刷)の使い方” “第8章 画面を使った入出力” ◆Web連携ガイド “第3章 MeFt/Webを利用したアプリケーション” “第4章 COBOL Web連携機能の選択ポイント” |
| 9 | V7.2 L10 | データベース連携 | プリコンパイラを利用してデータベース連携するアプリケーションを作成・実行する際に注意すべき点を説明します。 | ◆NetCOBOL 使用手引書 “付録I データベース連携” “17.5.7.1 Symfoware連携” |
| 10 | V7.2 L10 | CORBA アプリケーション | COBOLインタフェースのCORBAアプリケーションを作成し、CORBAの提供するサービスを利用することができます。 | ◆NetCOBOL 使用手引書 “第21章 CORBAアプリケーション” |
| 11 | V7.2 L10 | Unicode サポート | Unicodeで動作するアプリケーションを作成できるようになりました。 | ◆COBOL 使用手引書 “第18章 Unicode” “付録J 日本語コード系” |

| 項番 | VL | 機能名 | 内 容 | 参照マニュアル |
|----|-------------|--------------------|--|--|
| 12 | V7.3 L10 | 任意日付取得機能 | COBOLアプリケーションで取得する日付に、任意の日付を指定できるようになりました。 | ◆NetCOBOL使用手引書 “10.1.7 任意の日付の入力” “D.3 CURRENT-DATE関数を利用した西暦の取得” |
| 13 | V7.3 L10 | OSIV系形式実行時パラメタ指定機能 | OSIV系形式の実行時パラメタをコマンド行で指定できるようになりました。 | ◆NetCOBOL使用手引書 “4.2.4 OSIV系形式の実行時パラメタを指定する” |
| 14 | V7.3 L10 | デッドロック出口機能 | データベース連携時にデッドロックが発生した場合の処理を、COBOLプログラムで簡単に記述できるようになりました。 | ◆COBOL文法書 “6.4.53 USE FOR DEAD-LOCK文” ◆NetCOBOL使用手引書 “I.3 デッドロック出口” |

第2章 互換に関する情報

ここでは、以前のバージョン・レベルからの外部仕様の変更の有無について述べています。変更がある場合は、変更内容、影響、対処方法の詳細について説明します。

NetCOBOL開発環境 (FJSVcb1)

| 項番 | VL | 変更内容 | 影響 | 対処 |
|----|-------------|--|--|--------------------------------|
| 1 | V7.3 L10 | <p>可変長レコードの印刷ファイルのWRITE文について</p> <p>以下の条件のとき、実行時に、正しいレコード長でレコードが書き出されない場合がありますが、NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG34053)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) FORMAT句無し印刷ファイルまたはFORMAT句付き印刷ファイルに対するWRITE文が記述されている。かつ</p> <p>2) WRITE文の対象となるファイルの形式が、FD記述項にDEPENDENT ON指定有りのRECORD句が記述された可変長レコードファイルである。または</p> <p>FD記述項に「CONTAINS 整数-1 CHARACTERS」指定のRECORD句が記述された固定長レコードファイルである。かつ</p> <p>3) WRITE文にFROM指定が無い場合は、指定されたレコード名のレコードデータ項目、FROM指定が有る場合は、そのFROMに指定されたデータ項目について、それ自身またはそれに従属する項目中に、CHARACTER TYPE句およびPRINTING POSITION句が存在しない。かつ</p> <p>4) WRITE文に指定されたレコード名のデータ項目の項目長(*1)が、RECORD句の指定長(*2)と異なる。</p> <p>*1 OCCURS DEPENDENT ON指定項目に従属する場合は実行時に決まる長さ</p> <p>*2 DEPENDENT ON指定があるならば実行時にそのデータ項目が保持している値</p> | COBOLプログラムで可変長レコードの印刷ファイルのWRITE文を記述している場合。 | NetCOBOL V7.3でプログラムを再翻訳してください。 |

| 項番 | VL | 変更内容 | 影響 | 対処 |
|----|-------------|--|--------------------------------|---------------------------------------|
| 2 | V7.3 L10 | <p>埋込みSQL文の文字列定数の動作について</p> <p>以下の条件の場合、埋込みSQL文の文字列定数が、指定した文字列の末尾にシングルクォーテーションを付加して実行される問題がありました、</p> <p>NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG49000)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) COBOLのデータベース機能(ODBC接続)を使用している。かつ、</p> <p>2) 1つの埋込みSQL文を複数行に渡って記述している。かつ、</p> <p>3) 埋込みSQL文中に文字列定数を記述している。かつ、</p> <p>4) 3)の文字列定数の直後に改行がある。かつ、</p> <p>5) 次行に以下のいずれかの条件に当てはまるSQL文を記述している。</p> <p>- 最終トークンが4)と同条件の文字列定数ではない場合、有効バイト数(*1)37バイトのSQL文。</p> <p>例) INSERT INTO ADDR_TBL VALUES (103, '03 ', 'FUJITSU'▽ , 'FUJITSU FMV-DESKTOP CELSIUS', 50000▽</p> <p>↑有効バイト数37バイトのSQL文</p> <p>- 最終トークンが4)と同条件の文字列定数である場合、有効バイト数(*1)38バイトのSQL文。</p> <p>例) INSERT INTO ADDR_TBL VALUES (103, '03 ', 'FUJITSU'▽ , 'FUJITSU FMV-DESKTOP CELSIUS WINDOWS'▽</p> <p>↑有効バイト数38バイトのSQL文</p> <p>※ ▽は改行を表します。</p> <p>*1 連続した空白は1バイトとみなします。</p> <p>例) ORDER BY MK12345678901 , MK1234567890</p> <p>↑有効バイト数37バイトとみなします。</p> <p>修正前: 「FUJITSU」 (末尾に「」が付加される)</p> <p>修正後: 「FUJITSU」</p> | <p>埋込みSQL文の文字列定数を記述している場合。</p> | <p>NetCOBOL V7.3でプログラムを再翻訳してください。</p> |

| 項番 | VL | 変更内容 | 影 響 | 対 処 |
|----|-------------|---|---------------------------|--------------------------------|
| 3 | V7.3 L10 | <p>内部ブール項目の比較結果について</p> <p>以下の条件の場合、IF文、EVALUATE文、PERFORM文、SEARCH文などに記述された条件の結果が正しくない場合がありますが、</p> <p>NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG30137)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) 翻訳オプションOPTIMIZEが指定されている。かつ、 2) IF文やEVALUATE文などが連続して記述されている。または、条件が論理演算子ANDやORで連結されている。かつ 3) 2)の条件が以下であり、条件が連続して記述されている。かつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部ブール項目と定数の比較 ・内部ブール項目の条件名による比較 <p>4) 3)のそれぞれの条件で使用されている内部ブール項目が同一バイト内に存在する。</p> | 内部ブール項目の比較条件が左記に該当している場合。 | NetCOBOL V7.3でプログラムを再翻訳してください。 |

NetCOBOL運用環境 (FJSVcbr)

| 項番 | VL | 変更内容 | 影響 | 対処 |
|----|-------------|--|--|---|
| 1 | V7.2 L10 | <p>FORMAT句なし印刷ファイルについて</p> <p>NetCOBOL V7.0L10では、FORMAT句なし印刷ファイルの標準データストリームは、PostScriptでしたが、NetCOBOL V7.2L10以降では、UVPIに変更されました。</p> | <p>FORMAT 句 なし印刷ファイルを利用している場合。</p> | <p>PostScript を出力する場合は、印刷情報ファイルにデータストリーム種別("PS1")を指定してください。</p> |
| 2 | V7.3 L10 | <p>NATIONAL関数の変換結果について</p> <p>実行時のコード系がEUCの動作環境において、翻訳オプションKANA (EUC) を指定している、または翻訳オプションKANAを省略して翻訳したCOBOLプログラムでNATIONAL関数を使用してEUC半角カナを変換した場合、変換結果に誤りがありました。NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG44915)の吸収により、正しく変換するようになりました。</p> | <p>実行時のコード系がEUC、かつ翻訳オプションがKANA (EUC) 、または翻訳オプションKANAを省略、かつNATIONAL関数でEUC半角カナを変換した場合。</p> | <p>ありません。</p> |
| 3 | V7.3 L10 | <p>COBOL 提供のサブルーチン mbston16s および n16stombsの動作について</p> <p>以下の条件の場合、COBOL 提供のサブルーチン mbston16s および n16stombs が、誤り値(-1)を返却せずに正常値(変換文字数)を返却する問題がありました。NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG42328)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) mbston16s または n16stombs の第2引数にASCII文字または半角カナ文字を含む文字列を指定している。</p> | <p>COBOL 提供のサブルーチン mbston16s および n16stombs を利用している場合。</p> | <p>ありません。</p> |
| 4 | V7.3 L10 | <p>SORT文およびMERGE文の実行結果について</p> <p>以下の条件の場合、SORT文およびMERGE文の実行結果に誤りがある問題がありました。NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(P806792)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) COLLATING SEQUENCEを指定している。かつ、 2) KEY句に、日本語項目、ブール項目、数字項目、数字編集項目または日本語編集項目を指定している。</p> | <p>COLLATING SEQUENCE を指定してSORT文およびMERGE文を利用している場合。</p> | <p>ありません。</p> |

| 項番 | VL | 変更内容 | 影響 | 対処 |
|----|-------------|---|--|--------|
| 5 | V7.3 L10 | <p>日本語項目の比較で文字列の末尾が 0xA1 である文字を比較した場合の結果について</p> <p>以下の条件で日本語項目または集団項目の比較を行った場合、文字列比較結果に誤りが発生する問題がありました、</p> <p>NetCOBOL V7.3L10 以降では、障害修正(PG38450)の吸収により、正しく処理されるようになりました。</p> <p>1) 文字コード EUC を使用している。かつ、 2) 翻訳オプションに NSPCOMP (ASP) を指定して翻訳している。かつ、 3) 日本語文字の 2 バイト目が 0xA1 である文字を使用(「機」「亜」など)している。かつ、 4) 3) の文字の直後に、日本語空白文字を使用している。</p> | 日本語項目の比較で日本語文字列の末尾が 0xA1 である文字を比較した場合。 | ありません。 |
| 6 | V7.3 L10 | <p>SEARCH文(SEARCH ALL)の検索結果について</p> <p>SEARCH文のWHEN指定に複数の条件を記述している、または、WHEN指定のキー項目に指定されている添字が多次元の場合、条件の右辺(比較対象項目)に指定した符号なし内部10進項目と条件の左辺(キー項目)に指定した次のいずれかの項目</p> <ul style="list-style-type: none"> - 符号なし外部10進項目 - 符号付き外部10進項目 - 符号なし内部10進項目 - 符号付き内部10進項目 <p>との組合せの条件を満足する表要素を正しく検索できない問題がありました、</p> <p>NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG50258)の吸収により、正しく検索できるようになりました。</p> | COBOL プログラムで SEARCH文 (SEARCH ALL) を記述している場合。 | ありません。 |
| 7 | V7.3 L10 | <p>SEARCH文(SEARCH ALL)の検索結果について</p> <p>環境変数 LANG に ja_JP.UTF-8 を設定した環境で、SEARCH文のWHEN指定に複数の条件を記述している、または、WHEN指定のキー項目に指定されている添字が多次元の場合、条件の左辺(キー項目)または右辺(比較対象項目)に日本語項目または日本語編集項目を記述し、条件の他方に集団項目を記述している組合せの条件を満足する表要素を正しく検索できない問題がありました、</p> <p>NetCOBOL V7.3L10以降では、障害修正(PG51442)の吸収により、正しく検索できるようになりました。</p> | Unicode で動作する COBOL プログラムで SEARCH文 (SEARCH ALL) を記述している場合。 | ありません。 |

第3章 プログラム修正一覧

本ソフトウェアでは、以前のバージョン・レベルで発生した障害が修正されています。
各バージョン・レベルで修正された内容および修正番号について説明します。

NetCOBOL開発環境 (FJSVcb1)

| 項番 | VL | P番号 | 現象 |
|----|-------------|---------|--|
| 1 | V7.3 L10 | PG34053 | 可変長レコードの印刷ファイルの WRITE文を実行した時、指定した長さでレコードが書き出されない場合があります。 |
| 2 | V7.3 L10 | PG49000 | 埋込みSQL文の文字列定数取り出し処理の誤りにより、SQL文の処理結果が意図しないものとなります。 |
| 3 | V7.3 L10 | PG30137 | 翻訳オプションOPTIMIZE指定時、内部ブール項目の比較が正しく行われない場合があります。 |

NetCOBOL運用環境 (FJSVcbr)

| 項番 | VL | P番号 | 現象 |
|----|-------------|---------|---|
| 1 | V7.3 L10 | PG52263 | CプログラムからJMPCINT2を呼び出し、JMPCINT3を呼び出さずスレッドを終了した場合、セグメンテーション例外が発生する場合があります。 |
| 2 | V7.3 L10 | PG44915 | EUC半角カナをNATIONAL関数で正しく変換できない場合があります。 |
| 3 | V7.3 L10 | PG42328 | 日本語内部表現コードセット操作のmbston16s/n16stombsの入力データに誤りがあった時、復帰値が正しくない、または、文字列格納域を超えて書き込む場合があります。 |
| 4 | V7.3 L10 | PG42545 | COBOLファイルアクセスルーチンを使用した場合、解放されない領域があります。 |
| 5 | V7.3 L10 | PG50258 | 実行時にSEARCH文 (SEARCH ALL) のWHEN指定の比較対象項目に符号なし内部10進項目を指定した条件を満足する表要素を検索できない場合があります。 |
| 6 | V7.3 L10 | PG51442 | Unicodeで動作するCOBOLプログラムで日本語を検索条件に指定したSEARCH ALL文を実行すると、表要素が正しく検索できない場合があります。 |
| 7 | V7.3 L10 | PG45554 | FORMAT句なし印刷ファイルで出力したPostScriptデータをPostRasterに渡した場合、「Error : limitcheck save」等のメッセージが出力されます。 |

| 項番 | VL | P番号 | 現象 |
|----|-------------|---------|--|
| 8 | V7.3 L10 | P806792 | SORT/MERGEにCOLLATING SEQUENCEを指定し、かつ、KEY句に日本語項目、ブール項目、数字項目、数字編集項目または日本語編集項目を指定した場合、SORT/MERGEの実行結果誤りとなります。 |
| 9 | V7.3 L10 | PG38450 | COBOLプログラムの日本語項目の比較処理で文字コードEUCの多バイト文字の末尾が0xA1である文字（「機」「亜」など）を使用した時、文字列比較結果誤りになります。 |
| 10 | V7.3 L10 | PG38323 | 簡易アプリ間通信機能のCOBCI_WRITE関数をCALLした時、エラーコード12、詳細コード3106 で論理宛先への書き込みに失敗する場合があります。 |
| 11 | V7.3 L10 | PG39655 | 簡易アプリ間通信機能のCOBCI_OPEN関数をCALLした時、エラーコード15、詳細コード3844で論理宛先のOPENに失敗します。 |
| 12 | V7.3 L10 | P807253 | COBOLファイルアクセスルーチンが、LFS指定ありとなしのファイルを同時にオープンした状態でファイルをアクセスした時、エラーが発生する場合があります。 |
| 13 | V7.3 L10 | PG45113 | SORT文またはMERGE文の実行時、“JMP0601I-I/U SORT文またはMERGE文でエラーが発生しました.CODE=100.”の実行時メッセージが出力される場合があります。 |
| 14 | V7.3 L10 | PG56723 | cobfloadコマンドの拡張指定で、入力ファイルのオープンに失敗した場合、既存の出力ファイルが削除されます。 |
| 15 | V7.3 L10 | PG57240 | COBOLファイルアクセスルーチンの実行で、UCS-2の行順ファイルを正しく処理することができません。 |

索引

| | |
|---------------|---|
| こ | |
| 互換に関する情報..... | 5 |
| つ | |
| 追加機能の概要..... | 1 |

| | |
|----------------|----|
| ふ | |
| プログラム修正一覧..... | 11 |